

次の文章を読んで、後の問題に答えなさい。

「私って、このクラスで成績は何番目くらいなんだろう」

誰でもそんなことを一度は考えたことがあると思います。小学生のうちにはテストの学年順位やクラス内順位を本人にも通知しない学校が多いと思うので、高得点を取ってもそれが順位として上位なのか中位なのかはわかりにくいものです。このクラス順位や学年順位が見えている人は、基本的には担任の先生のみということになります。

これが中学生になると得点通知表などの名目で渡されたり通知されたりするので、各教科と全教科総合の学年順位やクラス順位、学校やテストの種類によっては偏差値までわかるようになっていきます。つまり自分の成績の **ア** を知ってしまうわけですが、これを知りたいかそうでないかは人によって違うかもしれません。

それでも自分だけに成績がわかっているならまだしも、学校や学年の方針によっては上位成績者を廊下などの掲示板に貼り出すところもあるそうです。そうなるのでしょうか。

学年の上位二十人が掲示されるシステムだとすると、誰が上位成績者なのかがみんなに見える状態になるのです。そうなると思われたい人は成績のいいふりもできませんから、人によってはおちと困った話なのかもしれません。・ここまで成績が見えるという具体例

このように見えるということは自分だけではなく、周囲も含んでいろいろと影響がありそうです。そして、見える化は成績の話だけではありません。・次からゲームの見える 具体例

たとえばインターネットに接続していない昔のゲーム機の時代だと、対戦ゲームで自分と友達とどちらが強いのかは実際に対戦してみないとわかりませんでした。

イ それが今では対戦型ゲームもネット接続が当たり前です。実際の対戦がネット上でできますし、仮にネット上で直接対決をしなくても、ユーザーみんなが参加型のランキング戦の順位が発表されていて、誰が上位なのかが見えるようになってきているのです。

他にもアイドルの人気度などはどうでしょうか。昔なら人気は、CDの売上枚数や出演したテレビ番組の視聴率、ラジオや有線放送のリクエスト回数などの数値で表されていました。

今でもそれらの数値は一つの目安ですが、他にも動画の再生回数やSNSのフォロワーの数なども影響力のある数値です。さらにはSNS上で交流のある人物などもわかるようになったいたり、動画を見入れるとそのアイドルの過去の人気動画や他の方とのコラボ企画、同じレベルのアーティストなどがおすすめに表示されるので、数値以外の関連性も見えてきます。

こうしてみると、ちょっと前までは見えにくかったことが現在では見える化するようになってきていると思います。時には見えなくてもいいと思うこともあるわけですが、見える化によってこの先多くの事柄が結構面白くなっていくようにも思うのです。

・最後の段落結論になっている。(編井 一樹「いびつな真珠を上手く弾く」より)

問一 次の選択肢のうち、本文と合っているものはどれか。

- 1 現在では、対戦型ゲームの強さは実際お互いに対戦しないとわからない。
- 2 現在では、テストの成績もネット上で公開している中学校が多い。
- ◎ 3 現在では、アイドルの人気度は動画再生回数も一つの目安である。
- 4 現在では、成績ランキングと対戦型ゲームのランキングは何らかの関係がある。

問二 本文中の「ア」に入る「本当の姿」という意味の漢字二文字の熟語を書きなさい。

現

実

・ 真実 現状 実態 などてもよい。

・ 本文には無い言葉を考えて入れるやや難しい問題だが、「本当の姿」の意味の言葉を入れるので、現実 などだとわかる。

問三 本文中の「イ」に入る適当な接続語を次の選択肢から選びなさい。

- 1 たとえば 2 そして 3 つまり 4 ◎ しかし 5 したがって

・ [] の前の文章で昔のゲームの話、[] の後で今のゲームの話をしており、異なる内容を比べているので逆接の「しかし」が入る。

問四 この文章で筆者の主張は次の選択肢のうちどれか。

◎ 1 これまでは見えにくかったり見えなかったものが、現在では見えるようになってきているので、いろいろなことが興味深くなっていくように思う。

2 テストの学年順位が廊下の掲示板に貼り出されてしまうと、成績の良いフリをしたいプレイヤーを高い人にとってはそれもできないので、きっと困ったことになると思う。

・ 成績の話のところにありますが、あくまで具体例であり筆者が主張したいことではない。

3 ネット上の動画再生回数やSNSのフォロワー数などの数値の影響力のおかげで、今後さらに面白い世の中になっていきそうな感じがする。・この選択肢は正解に近いのでまぎらわしいが、後半は合っているが、前半の動画再生回数やフォロワー数は見える話の一部の具体例である。

4 対戦型ゲームのランキングやアイドルの人気度なども現在では見えるものになってきているが、こうしたことは時にはトラブルなどにも発展する危険性があると思う。

・ 前半はいいが、後半のトラブルなどの内容は本文には無い。

5 自分の本当の成績や本当のゲームランキングを知りたく無い人にとっては、時には見えない方がいいと思うこともあるので、見える化は良いことばかりではない。

・ 本文では見える化してくることにについて、良いか悪いかは筆者は述べていない。